

書 寫

書写の目標について
<p>【教科の目標】 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 [知識及び技能] の「(3) 我が国の言語文化に関する事項」のうち、書写に関する事項</p> <p>[第1学年] (ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。</p> <p>[第2学年] (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 (イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。</p> <p>[第3学年] (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。</p>

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、生徒が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年	書写・701	新しい書写 一・二・三年
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方を確かめて書いたり、情報を整理した書き方を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 書体や筆記具を考えてはがきの裏面を書いたり、どのような観点で楷書と行書を使い分けるか考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 手書き文字の特徴を生かして効果的に書いたり、身の回りで見られる文字の特徴や工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書を書くときの動きに気を付けて書いたり、点画の連続や変化に注意して書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、行書と仮名の調和に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 書体を工夫して応援旗や絵はがきを書いたり、書体や線の太さなど、多様な文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 穂先の向きを意識した点画の書き方、行書を書くための筆の動きなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 速く滑らかな動きのための点画の省略、行書と仮名の調和のための筆圧の変化と筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、点画の書き方や字形の整え方について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、点画の省略について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、身の回りの文字の目的と工夫について考えたり、学習したことについて、分かったことなどを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について点画の書き方と字形の整え方を確かめる活動の後に、仮名の書き方や字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆圧の変化や筆脈を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 身の回りの文字の目的と工夫を確かめる活動の後に、手書き文字の特徴を生かして、効果的に書く工夫を考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「本のポップ」や「パンフレット」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、「北海道庁」の石碑の写真に掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、巻末に教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 学習の進め方についてマークや写真で示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1・2・3学年	書写・702	現代の書写 一・二・三
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画や部分の組立てに注意して書いたり、文字の大きさと配列を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 書体を選択してお礼状を書いたり、読み手や目的、状況に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 構成や用具・用材を決めて書いたり、効果的に文字を書くことの必要性について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の丸みや連続に注意して書いたり、点画の形や方向の変化に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、筆脈を意識して流れるように書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 好きな言葉を色紙や本のしおりに書いたり、手書き文字や活字のそれぞれの特徴や表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方と楷書の点画の筆使い、横画や折れの丸みなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 穂先を使った書き方による点画の省略、流れるように書くための筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、字形の整え方と筆使いについて考えたり、学習したことが他の文字ではどこに使われているか説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、点画の省略について考えたり、学習したことが他の文字ではどこに使われているか説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第3学年～ 「目標を確かめよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたり、手書き文字や活字の例を参考にして、文字の魅力を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について字形の整え方と筆使いを確かめる活動の後に、仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆脈や仮名の形の違いを確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の特徴を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 手書き文字や活字による伝え方の変遷を確かめる活動の後に、効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「グループ新聞」や「情報誌」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、北海道にゆかりのある石川啄木の短歌を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習したことを実際に活用できているかを確認できる「自分の言葉でまとめよう」や、巻末に日常生活や社会生活で使われる書式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 単元の基本構成と学習の流れについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1・2・3学年	書写・703	中学書写
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方や筆順のきまりに注意して書いたり、漢字と仮名の大きさを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 用紙や書体を工夫して案内状を書いたり、様々な書く場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ レイアウトや筆記用具を工夫して書いたり、身の回りで見かける文字の表現効果について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書の筆使いに注意して書いたり、点画の連続と変化に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 配列に気を付けて俳句やメッセージカードを書いたり、石碑の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 穂先の向きや筆圧を意識した点画の書き方、行書の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 速く書くための筆脈を意識した筆の動き、行書に調和する平仮名を書くための筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、未来の自分に向けた手紙を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、筆脈や配列について考えたり、「筆脈」や「配列」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の省略について考えたり、「点画の省略」や「筆順の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、点画の形や方向の変化について考えたり、「点画の形」や「点画の方向の変化」など、書写の学習用語を用いて学習した内容について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について筆脈や配列を確かめる活動の後に、漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について点画の連続と配列を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の筆使いを確かめて書く活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 身の回りの多様な表現による文字を見つける活動の後に、見つけた文字の効果についてレポートにまとめる活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「お薦めの本の帯」や「ポップ」など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、北海道の「五稜郭跡」の石碑の写真に掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できる基本的な書式をまとめた「書式の教室」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 学習の進め方の手立てについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1・2・3学年	書写・704	中学書写 一・二・三年
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 外形と中心や筆順に注意して書いたり、点画や部分の組み立て方を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。</p> <p>第2学年～ 楷書又は行書を選択して入学願書を書いたり、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く。</p> <p>第3学年～ 書体や筆記具、用紙を決めて書いたり、文字の使い分けやその効果について考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 行書の筆使いに注意して書いたり、点画の変化に気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。</p> <p>第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に注意して書いたり、筆脈を意識して、次の画や文字につなげるように書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ これまでに学習したことを生かして自分の好きな言葉を書いたり、身の回りにある文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 筆圧や点画のつながりを意識した筆使い、滑らかに動かすための筆の運びなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第2学年～ 次の画への筆脈を意識した穂先の動き、行書と仮名の調和を意識した筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「私の好きな言葉」において、これまでの学習で印象に残った言葉や書きたい言葉を硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、漢字の筆使いについて考えたり、漢字を構成する点画の種類とその筆使いについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、点画の省略について考えたり、楷書と行書を比べて、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、効果的に伝えるための文字の使い分けについて考えたり、字体の違うそれぞれの文字から受ける印象とその理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書について調和する仮名の筆使いや字形を確かめる活動の後に、漢字と仮名の大きさや配列を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書について筆順の変化や筆脈を確かめる活動の後に、行書と仮名を調和させるために筆脈を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 身の回りにある様々な文字を確かめる活動の後に、文字の使い分けやその効果について、気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「枕草子」や「おくのほそ道」など、国語科と関連を図った教材を掲載したり、北海道の「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑の写真に掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習したことを確かめることができる「書写テストに挑戦しよう」や、巻末に日常生活に生かす書式を整理して示した「日常に役立つ書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と学習の進め方について写真で示したページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

<書写の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数
- ② 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数
- ③ 硬筆と毛筆の関連を図った教材数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことができるよう地域の実態を生かした指導が求められていることから、北海道とかかわりのある内容の掲載状況について把握する必要があるため。
- ③ 毛筆を使用する書写の指導においては、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう配慮することが大切であることから、硬筆と毛筆の関連を図った教材について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者				東書				三省堂				教出				光村			
		学年		1	2	3	資料等	1	2	3	資料等	1	2	3	資料等	1	2	3	資料等		
①	硬 指導事項ア	12	8	7	-	4	4	2	-	9	7	5	-	4	5	6	-				
	筆 指導事項イ	6	6	-	-	3	2	-	-	5	6	-	-	4	3	-	-				
	毛 指導事項ア	7	6	8	-	5	6	4	-	10	9	6	-	7	7	4	-				
	筆 指導事項イ	6	4	-	-	6	2	-	-	10	4	-	-	5	2	-	-				
	総ページ数		144 (※ 1)				128				144				157						
	前回のページ数		145				118				142				120						
	増減 (%)		- 1 %				8%				1%				31%						
	②	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数	1	2	0	0	0	2	0	0	3	1	1	3	0	0	1	2			
③	硬筆と毛筆の関連を図った教材数 (※ 2)	5	7	3	2	5	2	1	0	6	6	4	1	3	3	1	0				

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

(※ 1) 東書の総ページ数については、巻末に設けられている「書写活用ブック」を含む。

(※ 2) 調査項目③「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や、毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書く教材を対象とする。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

	単元及び教材名(該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容	
東 書	1 年賀状を書こう (P43)	文章	「北海道」の記述	
	2 手書き文字と活字 (P72)	写真	北海道のキャッチフレーズ「その先の、道へ。北海道」のポスター	
		写真	「北海道庁」の石碑	
三省 堂	2 四十七都道府県名 (P56)	文章	「北海道」の記述	
	行書と仮名の調和 (P58)	文章	石川啄木の短歌	
教 出	1 行書学習のはじめに (P41)	写真	「登別地獄谷」の看板	
		写真	「釧路湿原駅」の看板	
		写真	「札幌市役所」の石碑	
	2 学習を生かして書く (P83)	写真	「北海道新聞」の題字	
	3 多様な表現による文字 (P96)	写真	「五稜郭跡」の石碑	
	資料	都道府県名一覧表 (P103)	文章	「北海道」の記述
		書式の教室 小包伝票の書き方 (P106)	文章	札幌市中央区北23条西1-1-44(小包の伝票)
書写テストで確認 (P109)		文章	石狩市花川北九条五丁目ニール(はがきの差出人住所)	
光 村	3 全国文字マップ (P93)	写真	「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑	
	資料	都道府県名を練習しよう (P24)	文章	「北海道」の記述
		都道府県行書一覧 (P115)	文章	「北海道」の記述及び道章